

キシラデコールコンゾラン下塗り剤+キシラデコールコンゾラン標準仕様

2022年9月

| 素地・下地調整 | | | |
|----------------------------|-------------------------------------|---|------------------------------------|
| 塗装面の状態 | 処理方法 | 材料・用具※3 | 備考 |
| 新しい木材 | ごみ、ほこりなどを除去し、清掃する | サンドペーパー・ブラシ・ボロ布 | ・塗装時の木材含水率は18%以下 |
| ヤニや油分の多い木材 | 表面のヤニや油分を拭き取る | ラッカーシンナー・アルコール | ・スチールブラシは鉄汚染の原因となるため使用不可 |
| キシラデコール塗装面 (含浸形塗料塗装面※1) | 表面のごみ、汚れ、変色やぜい弱層を除去し、清掃する | サンドペーパー・ブラシ・ボロ布・皮スキ・漂白剤・塗膜剥離剤・低圧または高圧洗浄 | ・釘頭や木ねじはサビ止めをする |
| キシラデコールコンゾラン塗装面 | 旧塗膜を除去し、表面のごみ、汚れ、変色やぜい弱層を除去し、清掃する※2 | | ・毛羽をサンドペーパーで平滑にし清掃する |
| 造膜形塗料塗装面 | | | ・パテ・埋木などで補修をした場合は、サンドペーパーで平滑にし清掃する |

※1 含浸形塗料塗装面であっても、キシラデコールコンゾランと下塗り剤の浸透や密着を妨げる場合は旧塗膜の除去が必要です。

※2 旧塗膜を除去せず塗装した場合は、旧塗膜の剥離に追従して上塗り塗材のキシラデコールコンゾランが剥がれることがあります。

塗膜の除去作業後、旧塗膜が残った場合は、キシラデコールコンゾランとの密着性を向上させるため、粗目のサンドペーパー(P120~220)で目荒らししてから塗装してください。

※3 材料や用具は、下地の状態に応じお選びください。

| 塗装工程 | | | | | |
|------------|------------------|------------------------------------|---|----------|---------|
| 工程 | 塗料 | 使用方法 | 標準使用量 | 塗り重ね乾燥時間 | 備考 |
| 下塗り | キシラデコールコンゾラン下塗り剤 | ハケ又はローラー塗り (スプレー塗装不可) 1回塗り | 0.07~0.11kg/m ² (9~14m ² /kg) (1回塗り) | 1~2時間 | 乾燥は約2時間 |
| 下塗り 上塗り | キシラデコールコンゾラン(各色) | ハケ又はローラー塗り (スプレー塗装不可) 2~3回塗り | 0.15~0.25kg/m ² (4.0~6.6m ² /kg) (2~3回塗りの合計量) | 1~2時間 | 乾燥は約2時間 |

※ 既設で吸い込みが多い古材へのキシラデコールコンゾラン塗装は、塗装回数が3回以上、あるいは使用量が0.25kg/m²以上になる場合があります。また、吸い込みの状態によっては、キシラデコールコンゾラン下塗り剤の使用量が0.11kg/m²以上になる場合があります。

- 標準使用量は、被塗材の種類(新材・古材)、樹種(針葉樹・広葉樹など)、塗装面、含水率、材のひび割れなどで異なる場合があります。
- 塗り重ね乾燥時間は、気温20℃、湿度65%、木材含水率18%の条件を示します。
- 以下の場合は乾燥遅延を起こすことがありますので、ご注意ください。
湿度が高い場合、低温の場合、塗布量が多すぎる場合、下塗りが未乾燥のうちに重ね塗りした場合、塗料が浸透しにくい木材に塗装した場合、換気が不十分な場合。乾燥が不十分な場合には、降雨などによって塗料が流れ落ちる可能性がありますのでご注意ください。塗装後未乾燥のうちに降雨が予想される場合は、塗装箇所に応じた適切な養生をしてください。
- キシラデコールコンゾラン下塗り剤は古材の塗装時に過剰な吸い込みムラ防止(防腐・防カビ)としてご使用ください。
- キシラデコールコンゾランのレッド(#551)やブリリアントイエロー(#550)、朱色(#523)を塗装する場合、下地が透けることがありますので、下塗りにワイス(#514)を塗装することをおすすめします。
(上塗り後にワイスが透ける場合は、上塗り塗装回数を増やしてください。)
- ローラーの種類によって塗装面に泡が発生しやすい場合がありますので、試し塗りによりご確認ください。
- デッキなどの水平面塗装不可
- その他、最新の製品情報、注意事項、SDSを必ずホームページより確認してください。